2008 年度

科目名	対象学科・学年	担当者
演習Ⅰ	文学部日文３回生	新井　由美

授業テーマ
泉鏡花の小説に関する分析と読解

授業の概要と目標
　泉鏡花は、明治・大正・昭和の三代にわたって活躍した作家であり、幻想的なもの、花柳界を舞台としたもの、あるいは児童向けの読み物など、様々なスタイルの小説を多く残しています。その卓抜した表現力は、今日の読者には難解と感じられる点もあるかもしれませんが、作品の一字一句を丁寧に読み込み、字句の注釈やモチーフの特質についての考察、文章構造の分析等を行うことを通じて、作中の様々な問題点を見出し、読解力を深めることを目標とします。

評価方法
　出席状況、受講態度、発表内容、期末レポートで総合的に評価します。

テキスト	著者	出版社
岩波文庫『外科室・海城発電』 そのほか授業中に適宜指示します。		

参考書	著者	出版社
授業中に適宜指示します。		

授業スケジュール・内容

前期は、作品に細かい注釈を付しながら、受講者全員で一つの作品を輪読します。本文をいくつかに区切って、それぞれ担当者を決め、発表形式で進めます。（「夜行巡査」を扱う予定）
後期は、受講者各自がそれぞれ一つの作品を選び、研究発表を行います。（選ぶ作品は自由、相談の上決めます。）
いずれも、受講者全員が討議に参加し、発言することを求めます。

（前期）
１、授業計画とオリエンテーション
２、日本近代文学と泉鏡花に関する基礎知識の習得（1）
３、　　〃　　（2）
４、参考文献の紹介、レジュメの作り方、発表の実例（1）
５、　　〃　　（2）
６～１５、受講者による発表・討議

（後期）
１、オリエンテーション、担当作品の決定
２、文献検索の方法、レジュメの作り方、発表の実例（1）
３　　〃　　（2）
４～１５、受講者による発表・討議